

立命館法學

2018年 第2号

論 説

- 日本法における「比例原則」の受容 須藤陽子…(1)
 —明治期・大正期—
- 詐欺罪における構成要件的結果の意義
 及び判断方法について (3) 佐竹宏章…(26)
 —詐欺罪の法制史的検討を踏まえて—
- 中華人民共和国の犯罪体系の起源 孫文…(80)
- 特定物売買における目的物の所有権移転時期 (2・完) 生熊長幸…(151)
 —民法改正を踏まえて—
- 不法行為による潜在型損害の長期消滅時効の起算点 松本克美…(200)
 —民法724条の「不法行為の時」と「損害の性質」論—
- 原発事故における「ふるさと喪失損害」の賠償 吉村良一…(223)
- 株券不発行会社における株主名簿の記載の効力 島田志帆…(249)
- 中国民事訴訟における再審の問題 朱波省志…(287)
 —その比較法的考察—
- 紛争国家の少数民族統合 (1) 西村めぐみ…(334)
 —コソボ・セルビア人選挙参加と地方分権化をめぐる論争—

判例研究

刑事判例研究23

- 警察官らが、被告人に対し、そのDNA型検査の資料を得るために、紙コップを手渡してお茶を飲むように勧め、そのまま廃棄されるものと考えた被告人から同コップを回収し、唾液を採取した行為につき、強制処分に該当するとされた事例
 (東京高判平成28・8・23高裁判集(裁判所ウェブサイト掲載)69巻1号16頁、
 東京高等裁判所(刑事)判決時報67巻1~12号124頁、
 刑事判例研究会判例タイムズ1441号77頁、破棄自判・一部無罪、確定) 刑事判例研究会・久岡康成…(359)

紹 介

- A・エーザー=W・ペロン編
 『ヨーロッパにおける刑事责任および刑事制裁の構造比較—比較刑法理論への寄与』(5) 刑法読書会・松宮孝明(共編)…(384)
 安達光治

資 料

- 『1804年ナポレオン民法典』(5) 中村義孝(訳)…(424)